

アイロップの包装設計システム

第2回 包装設計

「包装設計システム」2回目の今回は、「包装設計」をご紹介します。包装設計は、このシステムの中核で、設計者にとっては難しい反面、アイデア、スキル、知恵を発揮できるやりがいのあるステップです。



「包装設計」

前ステップ「設計条件の把握」で決定された条件に沿って設計します。設計者は、お客様の要求をすべて満足できるように設計の全体像を組み立てます。しかし、往々にしてその多くの要素はトレードオフの関係にあります。

すかし木箱に適した製品だが、組立作業に時間がかかる強度を満足しようとする、コストが予算内に納まらない発泡スチロールは、緩衝性は良いが廃棄処理に困る

設計者は、数ある要求条件の中でも品質を守ることを第一に考えます。そのために、机上での強度計算や、3DのCADを使って強度解析をしたり、実際に使う素材の強度試験などを行います。



【3DCADの強度解析】



【素材の強度試験】

包装設計に正解はありません。それぞれの要求条件には必ず優先順位があり、要求条件間のバランスもあります。また、お客様が気づかない設計条件に配慮することも設計者の役割です。これらの多様な条件を、クリアして最善のものにく近づけていくことが包装設計というステップです。

アイロップには、60年の間に蓄積された様々な技術情報があります。それらのデータを全ての設計者がいつでも閲覧できるようにデータベース化し、参考となる情報を素早く且つ有効に活用できるシステムを構築しています。

段ボールを折ったり曲げたり、発泡スチロールを削ってみたり、同じ素材でも、知恵とアイデアを総動員して、できる限り効率的に使う方法を試行錯誤し、検証を繰り返しながら、お客様に納得していただける形にしていきます。